

平成26年度議会運営委員会（議会改革推進会議合同） 所管事項調査報告書

閉会中の所管事項調査（平成23年8月31日議決）を実施したので、下記のとおり報告する。

議会運営委員会、議会改革推進会議

記

- 1 調査期間 平成26年11月13日（木）～11月14日（金）
- 2 調査先 第9回マニフェスト大賞、千葉県袖ヶ浦市
- 3 調査委員等 小柳正人 議会運営委員長、城内仲悦 議会運営副委員長、梶谷武由 議会運営委員、上山昭彦 議会運営委員、桑田鉄男 議会運営委員、澤里富雄 議会運営委員、堀崎松男 議会運営委員、小倉建一 議会運営委員、八重櫻友夫 議会改革推進会議座長、小野寺勝也 議会改革推進会議委員、山口健一 議会改革推進会議委員、大森正則 事務局長、田高慎 総括主査、長内紳悟 主任
- 4 調査事項及び調査結果
 - (1) 第9回マニフェスト大賞研修会
○第9回マニフェスト大賞受賞の先進事例について
 - (2) 千葉県袖ヶ浦市
○議会友好交流の充実について
 - (3) 第9回マニフェスト大賞授賞式
○第9回マニフェスト大賞受賞の先進事例について
- 5 調査結果
別添のとおり

第9回マニフェスト大賞（研修会・授賞式）

- 日時 平成26年11月13日（木）午後1時00分～午後5時30分
平成26年11月14日（金）午後1時00分～午後3時45分
- 場所 PHP研究所、六本木アカデミーヒルズ
- 出席者

北川正恭 早稲田大学政治経済学術院教授、曾根泰教 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、塚本壽雄 早稲田大学政治経済学術院教授、江藤俊昭 山梨学院大学法学部教授、廣瀬克也 法政大学法学部政治学科教授、千葉茂明 月刊ガバナンス編集長、藤森克彦 みずほ情報総研主席研究員、西尾真治 三菱UFJリサーチ&コンサルティング主席研究員、人羅格 毎日新聞社論説委員、杉尾秀哉 TBSテレビ解説専門記者室長、定金基 NPOカットジェイピー理事、箭内道彦 クリエイティブディレクター、秋吉久美子 女優 ほか

○第9回マニフェスト大賞受賞の先進事例について

《概要》

マニフェスト大賞は、地方自治体の首長、議会、会派、議員や地域主権を支える市民の活動等を募集・表彰・発表することで、地方政治で活動を積む人々に栄誉を与え、さらなる意欲向上に期待するために設けられている。

第9回大会には全国の首長・議会・市民から2,223件の応募数が集まり、審査の結果、久慈市議会が「成果賞優秀賞」を受賞した。

[各賞の受賞者一覧]

■マニフェスト大賞（首長部門）

- 最優秀賞 立谷秀清 相馬市長
- 優秀賞 小林常良 厚木市長、本川祐治郎 氷見市長、尾関健治 関市長、今村岳司 西宮市長、樋渡啓祐 武雄市長、草村大成 高森町長

■マニフェスト大賞（議会部門）

- 最優秀賞 自由民主党横浜市支部連合会・自由民主党横浜市会議員団
- 優秀賞 埼玉政経セミナー、民主党京都府総支部連合会

■マニフェスト大賞（市民部門）

- 最優秀賞 学生団体「選挙へGO!!」
- 優秀賞 僕らの一歩が日本を変える。、NPO法人湘南ビジョン研究所、CreateFuture 山梨、VOTE FOR NAGANO、静岡わかもの党、平戸市まちづくり市民委員会

■成果賞

- 最優秀賞 芽室町議会
- 優秀賞 久慈市議会、飯綱町議会、高山市議会、四日市市議会、小値賀町議会、神戸市会事務局、公明党岡山市議団

■政策提言賞

- 最優秀賞 鈴木ひろみ 新宿区議会議員
- 優秀賞 琵琶博之 蘭越町議会議員、真木大輔 戸田市議会議員、太田維久 岐阜県議会議員、ZAIKEN（議員有志による財政研究会）、高沖秀宣 議会事務局研究会共同代表

■ネット選挙・コミュニケーション戦略賞

- 最優秀賞 清家あい 港区議会議員
- 優秀賞 松野豊 流山市議会議員、草間剛 横浜市議会議員、山城保男・小林伸行 横須賀市議会議員、千葉市、鯖江市、松阪市、松山市選挙管理委員会、一般社団法人リンクデータ、NPO法人 YouthCreate

■復興支援・防災対策賞

- 最優秀賞 秦野市大根地区自治会連合会
- 優秀賞 大津市議会、岡毅 稲美町議会議員、おおふなとキッズワーキング、「かたらんね！地域防災」事務局

■審査委員会特別賞

小林常良 厚木市長、NPO法人湘南ビジョン研究所、飯綱町議会、小値賀町議会、松山市選挙管理委員会、一般社団法人リンクデータ、大津市議会

■審査委員会特別賞（秋吉久美子選）

NPO法人東北開墾

■審査委員会特別賞（箭内道彦選）

いわて議会事務局研究会、浜口健司・小川寿士 さいたま市議会議員

《所感》

【小柳正人 議会運営委員長】

優秀ネット選挙・コミュニケーション戦略賞のトップを機ってプレゼンテーションに臨んだ、流山市議会議員松野豊氏の「ガ克蘭」を着ての何と？言えいいのか、圧倒されるでもない、受けを狙ったパフォーマンスには、ある種、市議会議員像の変化を感じた。優秀政策提言賞の新宿区議会議員鈴木ひろみ氏の提言により、「議員任期中の出産に伴う議会等公務の欠席に対し、特別職公務員である区議会議員も新宿区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例と同施行規則を採用し、同様の扱いをすることを議会が認め、これを履行し、産休、育児休暇を取得した。」

との発表を聞いて、「目から鱗」の感を抱き、近い将来久慈市においても若き女性議員の登場を願うなら、同等の環境整備が必要であると痛感した。また、優秀成果賞の長崎県小値賀町議会の議会版総合計画の策定をし、可決した議会活動の成果報告では「、従来の受身的な議会ではなく行動する議会。別次元に座るのではなく、町民と共にある議会。政策を考え、提案する議会。」等の基本理念があるとのことであり、我が久慈市議会の目標と成すに相応しい議会であると感心させられた。その上、同議会のプレゼンテーションを「紋付羽織袴」の出立ちで行われた立石隆教議長には九州男児の気骨が滲み出ているように思われた。

その他、優秀マニフェスト賞市民の部における「僕らの一步が日本を変える（東京）」の高校生諸君の行動力と政治に対する理念等には日本の明るい未来を予言させるものを感じた。また、優秀マニフェスト賞議会の部における「8本の条例制定を掲げたマニフェスト（責任と約束）の実現」のプレゼンテーションを行った横浜市議が言われた「政策立案にはそれ相応の予算も必要であり、我々は政務活動費を55万円頂いている。」を聞き、少々羨ましき思いを抱くことを禁じえなかった。今回、多くの政策提言を聴く機会を得て嬉しくもあり、感謝もしているが、惜しむらくは、我が久慈市の優秀成果賞発表のプレゼンテーションを議長以下11名の議員団がありながら、議員自ら行わなかったことが残念であった。

【城内仲悦 議会運営副委員長】

賞は、5種類ありました。

- 1、 マニフェスト賞＝首長・議会・市民の3部門。
- 2、 成果賞
- 3、 政策提言賞
- 4、 ネット選挙・コミュニケーション戦略賞
- 5、 復興支援・防災対策賞の5種類でした。

5種類で46団体・個人が受賞し、3分間の持ち時間で、報告がありました。

報告の中で、マニフェスト賞＝首長部門では、相馬市長・立谷秀清氏の報告が印象に残った。3・11後の対応の中で、「助かった命を救うことが、災害対策の基本」の言葉が残っています。

議会部門では、自由民主党横浜市会議員団の報告は、度肝を抜くものでした。政策集団として、公約した8本の政策条例のうち、5本制定させ、市民に個別にチラシ配布を行い対話をかさねている。

議会事務局職員も100人近く配置され、法規審査も作られていることに、感銘いたしました。

市民部門では、NPO法人湘南ビジョン研究所の報告は、10年後の湘南のまちづくりビジョン「湘南都市構想2022」を策定。

その取り組みの状況がつぶさに報告され、実現の可能性を実感しました。

成果賞では、神戸市議会事務局の活動。39人の事務局体制。クラウド型文書共有・データベースシステム「神戸市会資料検索システム」を導入。政策立案・提言機能の充実に役立っている。

政策提言賞では、新宿区議会議員、鈴木ひろみさんが、議員任期中の出産・育休を取得できる取り組みを行い、取得できた。他の議会でも、取り組みが必要であると感じました。

ネット選挙・コミュニケーション戦略賞では、松山市選挙管理委員会が、松山大学にキャンパス内期日前投票所を開設し、学生とのソーシャル・ネットワーク・システム(SNS)での広報を絡めながら若年層の投票率向上を図っていることでした。当委員会の頭脳の柔らかさに感銘しました。

復興支援・防災対策賞では、大津市議会が大災害時などの非常時における、議決機関としての役割について具体化をはかったことを報告。災害時の組織体制や議員の役割、行動方針などを定めた大津市議会業務継続計画(「議会BCP」)を平成26年3月、地方議会として初めて策定した。

今回の研修は、久慈市議会が成果賞に選ばれたことから、実現したものです。

次の日14日に開催されました六本木ヒルズ森ビル49階での表彰式。生まれて初めての場所でしたので、一瞬慌てました。時間がたつにつれ、落ち着きを取り戻し、周りの人々が良く見え始めました。

この度は、久慈市議会が「じえじえじえ議会基本条例」の制定が評価され、又、いわて議会事務局研究会の活動が箭内道彦特別賞を受賞。

全国に久慈市議会・事務局在り、となりましたので、さらに精進していきたいと考えています。

【梶谷武由 議会運営委員】

今年第9回目となるマニフェスト大賞に2,223件の応募があり、政策提言賞やネット選挙・コミュニケーション戦略賞、優秀成果賞など全部で7つの賞があり46の団体や個人が受賞された。

久慈市議会も優秀成果賞を受賞することになり、事務局の長内氏が発表した。

発表時間が一人3分と少なかったため、発表者の意図がうまく伝わらないものもあった。また、発表の内容によってはもっと詳しく知りたいものも多数あった。発表者数を少なくしても発表時間を確保したほうが参加しての充実感が得られたと思う。

印象に残ったのは、神奈川県葉山町の超党派の議員がグループで行っている財政研究会の継続的財政分析。横須賀市の議員有志で議案審議前に市民の意見を聴く会の実施。千葉市ではICTを活用し、市民が様々な課題を内容や場所などスマホ等で

直接市に報告し、それを受けて市がすぐ対応する取り組みなどであった。

【上山昭彦 議会運営委員】

全国の都道府県、市区町村議会議員等が実行委員として主催している「マニフェスト大賞」に、本年度、本市議会が平成26年3月に制定した「じえじえじえ議会基本条例」とワールドカフェ形式の「かだって会議」開催が、優秀成果賞として表彰された。

表彰式の前日、表彰される団体の中から30ほどがパワーポイント等を使用するなどして、優秀賞に選定された提言や政策・マニフェストを「プレゼン研修大会」としてプレゼンテーションしたが、本市議会からは、事務局において「じえじえじえ議会基本条例」と「かだって会議」についてプレゼンを行った。7つの分野ごとに行われたが、議会としてエントリーした事例に関しては、ほとんど議員自身がプレゼンターとして説明を行っていただけに、本市議会においても議員が説明を行えたなら、なお、プレゼンテーションとしてアピールできたのではないかと思われた。

せっかくのプレゼンテーション研修大会だったので、感じられたことは、プレゼンテーション会場としては申し分ないと思われたが、パワーポイント等を利用し説明を行うには、相応の広い会場であるためプレゼンを受ける側の目線に合わせたスクリーンの高さが要求されると思う。しかし、スクリーンの大きさだけを考慮したのか座席に座ったまま説明を聞きながら画面全体を確認できたのは、最前列の審査員席とその後ろ2列目ぐらいであり、ほとんどの参加者はスクリーンの下三分の一は見えなかったのではないかと思われた。

せっかくスライドやビデオ等を使用した、説明者の声だけではない参加者の視覚にも訴えるプレゼンテーションを企画したのであれば、会場の天井は低かったが多少小さくても、最後列の参加者がスクリーン全体を見ながら説明を聞けるようなセッティングが行わなければならなかったのではないかと思われた。当議会でも議会基本条例に基づき、議会報告会等においてICTを活用した取り組みが行われ始めており、パワーポイント等を使用した説明がなされることが多くなってきていることから、会場の設営など参加者や聞く（見る）側の立場になり設定しなければならないものであることを改めて感じ取ることが出来た。

プレゼンをいただいた先進事例に関しては、コミュニケーションや政策提言・防災対策など7つの分野に分かれていたが、当然のことながらどの内容も他の地域・団体に先んじて行われたものが多く、応募総数2223件の中から選定された事例等であり、手法や取り組み方もポイントをうまくとらえていた。

人口規模や風土・取り組む年齢層など地域状況により違いはあるが、切り口など手法の変更を行えばどの自治体においても参考となりうるものが多いものと感じら

れた。

例えば、地方議員の産休育休に関する政策提言において、現在では当たり前と思われている制度でも地方議員がこれらを利用するには分かりにくいことが多く改善の必要があったようである。今後、今よりも多くの女性が社会で活躍することが期待されていることを考えれば、議会内においても女性議員が労働しやすい環境、特に出産に関わる制度の確立が提唱されて当然であったのではないかと思われた。

当議会では、現在女性議員の在籍はないが議会改革が進展することも要因となり、女性議員や若い世代の議員が活躍できる環境が構築されることにより、久慈市議会が今以上に議会としての役割を果たすことができ、市民福祉の向上と市勢の発展にも寄与して行けると期待するものである。

【桑田鉄男 議会運営委員】

ここで言えば、首長であり、議員、市民団体等素直
(我々では若くは十分な取り組み) 取り組みをいかに
発想が素直らしいと思う。議会改革にも第一
第三弾の取り組みに入、(いかに3あり 我々も
遅れをとらない様に ~~がんばる~~ がんばると思つた。

進んでいる議会では、いかに改革立案に積極的
に取り組んでいるし、声援は積極的の充実と成り
今後、市民に追随する議会ではなく 議会としての
機能を發揮できるようにいかに ~~いかに~~ どの思い
を強く感じているかである。

【澤里富雄 議会運営委員】

第9回目を迎えたマニフェスト大賞ですが、全国から2225件
もの応募があり、その中で久慈市議会が優秀成果賞を受賞
できた事は大変意義深いことである。

マニフェスト大賞授彰式に参加して、時代や社会の変化に敏感
に取り組み、年々進化している事を強く感じた。特にネット選挙
やICTの効果的な活用により、政治の見える化や市民との対
話が一層進み、政策提言等に繋げている事が伺えた。

提言の中には当市でも、すぐ出来る事があった、全国的に自転車の交通事故が多発している中、自転車レーン等の自転車走行空間の整備や、自転車の左側通行と自転車の前かごに掲示し啓発効果を高めている、あまりお金のかからない有効な手段と思う。

又、女性議員の任期中の出産にともなう産休や育休も取得、履行していること、このことは若い女性議員の誕生への重要な提言であると思います。その他にもたくさん参考になる提言がありました。今回、久慈市議会がマニフェスト大賞「優秀成果賞」をいただいた事は大変名誉な事であり、議会基本条例制定に向け一年以上苦労して制定したことがあったと思います。やとスタートラインに立った所でありますが、今後はさらなる実効性を高め、評価しながら実践していかねばならないと思う。

【堀崎松男 議会運営委員】

今年度は、Manifest Awards 2014 (マニフェスト大賞本委員会主催) 応募2323団体のうち表彰46団体(個人) 議会改革、議会活動、選挙運動など、先進事例発表及び表彰式に参加したことが、久慈市議会にも議会改革に取り組みがあり、今後の参考になると思っていますので取り入れていきたいと思っております。

【小倉建一 議会運営委員】

マニフェスト大賞受賞式前日のマニフェスト大賞プレゼン研修大会は、午後1時から午後5時すぎまでの昼時間に行われる研修となった。

マニフェスト大賞をねらえる各県、市町村、各NPO団体等の受賞事例を、1団体3分以内という短時間での発表だったから、発表事例すべてが参考となる内容であった。更に全国規模の競争が読めると思う。

北河道の茅葺町議会は議員研修計画を
つくり平成25年度は10回、26年度は13回南
催し、全議員が1人1人参加し、2026
果葉山の町の議員有志による実践合宿
のほかにも参考におこなうと思っております。

【山口健一 議会改革推進会議委員】

今回又ニスト大賞当久慈市議会が優秀成果賞
を授賞し、授賞式に参加しました。

前回は授賞者により、7月の研修大会が行なわれ
各賞ごとに発表があり全国では様々な取り組みが
行なわれていることに感じました。

全国2233件の応募の中に当久慈も選出されたことは
私も久慈市議会も選出されたことが、議会事務局と
一体となって取り組んだ成果だと思っております。

中でも審査委員会特別賞を授賞した当久慈市の事務
局長内さん等が中心となっている岩手県議会事務局研究
会が授賞したことは、大変素晴らしいことです。

私も議員だけでは大変な部分もありますが、事務局
と一体となって取り組んでいくべきと感じました。

千葉県 袖ヶ浦市

- 1 日 時 平成26年11月14日（金） 午前9時00分～午前11時00分
- 2 場 所 袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業エリア、袖ヶ浦駅南北自由通路、袖ヶ浦市立学校給食センター、袖ヶ浦椎の森工業団地、長浦駅南北自由通路
- 3 応対者 渡辺盛 議長、塚本幸子 副議長、田邊恒生 議会運営副委員長
篠原幸一 議会運営委員、前田美智江 議会運営委員、茂木芳和 議会運営委員、佐藤麗子 議会運営委員、笹生猛 議会改革特別委員長、花澤隆幸 事務局長、生方和義 事務局主幹
- 4 袖ヶ浦市の概要
 - (1) 位 置 東京湾沿い、千葉県のほぼ中央に位置する。
 - (2) 沿 革 平成3年4月1日市制施行により袖ヶ浦市となる。
 - (3) 総面積 94.92平方キロメートル
 - (4) 人 口 61,961人（平成26年11月1日現在）
 - (5) 議員定数 24人

○議会友好交流の充実について

〈概要〉

平成26年7月23日、久慈市議会と袖ヶ浦市議会との間で協定締結となった友好交流の充実を図るため、袖ヶ浦市内の施設見学を行ったうえで両議会議員同士による意見交換をし、今後の友好交流の充実について調査・研究した。

〔見学施設の概要〕

1 袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業エリア

施行者：袖ヶ浦駅海側土地区画整理組合／面積：48.9ha／総事業費：77.9億円／施工期間：平成23年度～平成29年度／進捗率：49.6ha（平成25年度末総事業費ベース）

2 袖ヶ浦駅南北自由通路

(1) 南北自由通路

事業年度：平成24年度～平成27年度／面積：約929㎡／幅員：6m／設備：エレベーター2基、エスカレーター上り専用2基、トイレ／概算事業費：約12億円／供用開始：平成26年10月12日（一部）、平成27年12月（全部）

(2) 駅舎

事業年度：平成24年度～平成27年度／面積：約277㎡／設備：エレベーター1基、トイレ／概算事業費：約11億円／使用開始：平成26年10月12日

3 袖ヶ浦市立学校給食センター

完成年月：平成26年9月／事業費：2,004百万円／延床面積：3,449㎡／計画給食数：6,500食（アレルギー除去食50食）／厨房機器類：連続炊飯機1台（5,600人／h）、スチームコンベクションオーブン4台（800個／回）、蒸気回転釜12台（1,000食／回）

4 袖ヶ浦椎の森工業団地

事業主体：千葉県、袖ヶ浦市／整備期間：平成26年～平成30年以降／分譲面積：約32ha／用途地域：準工業地域／交通アクセス：東関東自動車道館山線「姉崎袖ヶ浦IC」から約2.5km、JR内房線「長浦駅」から約4km

5 長浦駅南北自由通路

(1) 南北自由通路整備

事業年度：平成24年度～平成26年度／面積：約960㎡／幅員：6m／設備：エレベーター3基、エスカレーター上り専用2基／概算事業費：約12.7億円／供用開始：平成26年2月22日（一部）、平成27年3月（全部）

(2) 駅舎

事業年度：平成24年度～平成26年度／面積：約750㎡／設備：エレベーター1基、トイレ／概算事業費：約12.9億円／使用開始：平成26年2月23日

《所感》

【小柳正人 議会運営委員長】

昨日の歓迎懇親会の余韻がまだ冷めない早朝より、花澤議会事務局長、生方議会事務職員両氏の先導により、袖ヶ浦市内4ヶ所を視察させていただきました。

最初の袖ヶ浦駅海側特定土地区画整備事業は総事業費77.9億円であり、道路、公園等の公共施設及び上下水道等の都市基盤施設整備改善を行い、健全で良好な交通・商業・業務機能と居住環境を兼ね備えて交通拠点と地域の生活拠点を形成する市街地整備を図る計画との事。北口バス停から木更津市にあるアウトレットへ10分程で到着するとのことで、当駅からの乗降客が多数見受けられるとの事である。視察時に、遙か東を眺めれば富士山が見え、ある種の感動を覚えた。袖ヶ浦市は毎年人口増が続いているとの事であり、駅前の宅地（1坪25万円～30万円）も利便性に優れており、すぐに完売となるであろうことが予想される。次に、袖ヶ浦市立学校給食センターを視察したが、今年9月に完成したばかりの立派なセンターであった。事業費約20億円で相応しい近代設備と食育ルーム等が完備され、計画給食数約6,000食を目指し、人口増による児童生徒の増加に対応できる施設との事であった。次に、視察した袖ヶ浦椎の森工業団地は1期分譲地に12社が操業中であり、平成29年度分譲開始を予定し、2期分譲地の造成工事を計画しているとの事である。

市としては市内の緑地率を下げ、工場施設整備、宅地整備事業等を増やすことを目指しているとのことであった。今後も就労場所が増え、若者の定住人口も益々増えるであろうと思われ、羨ましい限りである。次に、長浦駅南北自由通路等整備事業が行われている、長浦駅を視察した。従来から長浦駅は南口と北口の高低差で階段の段差等の問題など多くの課題を抱えていたので、問題解決のため駅南北自由道路のバリアフリー化整備とともに、駅舎の改修を行い利用者にとってより利便性の高い交通結節点として整備するとの事である。概算事業費は約12億9,000万円であるが、JRの持ち出しは数千万円程度とのことであった。この事からも我が久慈市における久慈駅東西を結ぶ道路整備計画が取りざたされているが、JRからの財源的協力は期待できないものと思われる。財政事情が良好な袖ヶ浦市でなければ出来ない事業であると納得した。

昼食の席で、渡辺議長が「近い将来4万人の人口増を目指し、人口10万人の市を目指したい。」と言われたが、市内視察を終え実現の可能性が大いにありと納得した。

【城内仲悦 議会運営副委員長】

2014年11月13日の夕方、電車で袖ヶ浦駅に到着。この日は、午後、4時間を超える研修でしたので、少し疲れしました。宿は、袖ヶ浦には一つしかない「ホテル鈴や」。この日は、袖ヶ浦市議会の議長・副議長等も参加し、和やかな夕食交流会となりました。

2014年11月14日朝8時30分出発。袖ヶ浦市の施設研修。

研修先は、学校給食センター・工業団地・袖ヶ浦駅裏の土地区画整理事業の3か所でした。

袖ヶ浦市は、東京への通勤圏であり、人口が増加しているとのこと。区画整理事業により、3,000人の増加が見込まれるとのことでした。今回は、駆け足の視察でしたが、豊かな畑地も多く、首都圏の台所の役割も果たしているように感じてきました。

今後は、ホームステイの形で交流を深めることによって、お互いの市の在りようが、理解されるのではないかと感じました。

今後は、計画的に交流の機会を作り、両議会と両市の発展に寄与するよう、がんばっていきたいと考えています。

【梶谷武由 議会運営委員】

土地区画整理事業は、健全で良好な市街地整備を図ることを目的とし、土地区画整理組合が施行者となって駅海側の48.9haを事業区域とし、無秩序な市街地化の進

行を食い止め、道路、公園等の公共施設及び上下水道等の都市基盤整備改善を行い、平成29年度の完成を目指している。事業進捗率約50%のとのことであった。

学校給食センターは、久慈市とほぼ同じような造りであったが「アレルギー除去食」を提供できるようになっており、久慈市でもアレルギーを持つ子どもが多く課題となっており何とかできないものだろうかと考えられされた。

工業団地に関する説明では、企業誘致のため県や市で立地企業助成や設備投資、雇用奨励金など7項目の優遇制度を実施しているとのことであった。交通アクセスや大都市からの距離など立地条件の良い地域も悪い地域でも国の支援が同じようでは競争に打ち勝つことができないと思う。国は地方創生に取り組むというのであれば、立地条件の良い地方にこそ支援を手厚くすべきではないかと感じた。

施設見学終了後袖ヶ浦市議会議員の方々と昼食を共にしながら、議会の友好交流についての意見交換を行った。

【上山昭彦 議会運営委員】

平成26年7月23日、久慈市議会と袖ヶ浦市議会において、お互いに友好交流を推進することを踏まえた友好交流協定が締結された。

昨年、袖ヶ浦市議会の議会改革特別委員会が当議会を視察していただいたことがきっかけとなり、久慈市議会常任委員会等が袖ヶ浦市議会を視察するなど、双方の議会による情報交換が行われたりする中から交流連携が進んできた。

マニフェスト大賞の「プレゼン研修大会」後には、袖ヶ浦市を訪れ、渡辺盛袖ヶ浦市議会議長や笹生猛議会改革推進特別委員長を交え意見交換会が開催された。

笹生委員長との懇談では、地方議会同士での友好交流協定締結は、地方分権化が進展するなかで画期的な取り組みであったことを言われていた。また、相互の視察において交流会を通じ、当議会議員の人柄や久慈市民との触れ合いで感動をいただいたこと締結の要因であったようだ。

しかし、この友好交流協定はスタートラインであり、協定書にも掲げられているように大規模災害の際の相互応援や、地域活性化に向けた議会活動、観光等の分野で情報交換や交流を進めることを含め、今後お互いの議会が切磋琢磨し、議会同士の善政競争に発展させたい考えを話されていた。

さらに、袖ヶ浦市議会は議会基本条例策定に向け検討を重ねている段階であり、当市議会を議会改革先進地として視察したことを好意的に受け止める市民からの発言もあるようである。

当議会でも、現在の議会改革は始まったばかりであり、さらに研究・調査を進めより良い議会とするとともに、議会友好交流協定締結をさらに成長・進化させ久慈市議会・袖ヶ浦市議会、両議会ともに発展していかなければならないと思われた。

あり、特にアレルギー食調理室が設置され、また本格的な可動でない様ですが除去食も提供するとの事です。

袖ヶ浦推の森工業団地が造成中であり平成29年度に分譲が開始される予定との事ですが、都心に約50分、成田空港に45分、羽田空港30分とアクセスに恵まれて、優良企業が立地しやすい環境にあり、うらやましい限りであります。

袖ヶ浦市議会とは今後共々方面にゆかり、交流を重ね互いに市政発展の為に務めてまいるべきと思う。

【堀崎松男 議会運営委員】

袖ヶ浦市議会訪問では、袖ヶ浦では学校昼食センター、土地区画整理事業への取組み状況、工業団地袖ヶ浦駅、長津駅のバリアフリー化など実地におり、将頭は見込み度程はとるに感じました。久慈市北新街地活性化事業等にも参考になると思われます。

【小倉建一 議会運営委員】

マニフェスト大賞プレゼン研修大会参加後、遅い時間に袖ヶ浦市内宿舎に着いたが、渡辺議長ほかの議員が歓迎懇談会を準備してきてくれ、この日も更に交流が深まり進んだと思われる。渡辺議長の人柄とこれからの交流の賜か。

翌日の袖ヶ浦市内施設等の視察も袖ヶ浦市議会の協力によりスムーズに進められた。

以前の訪問時には工事中であった袖ヶ浦駅南北自由通路は完成していた。木更津市にある三井アクトレイトパークへの最寄駅として、バスで移動の従業員、買物客の乗降が多

隣地の工地区画整理事業完成後の街なみなどを予測する
などしたか、徳駅前再開発に役立ちました。

最新式の袖ヶ浦市立学校給食センターも、安全安心な
給食提供に向けてのすばらしい施設だった。

袖ヶ浦市の森工業団地も大都市圏に近く、立地条件が
すばらしい場所だった。

長浦駅南北自由通路も完成直後であったが、又徳駅
前再開発計画のための参考になると思いました。

【八重櫻友夫 議会改革推進会議座長】

平成26年11月14日午前中袖ヶ浦市の袖ヶ浦駅や周辺の
特選定土地地区画整理事業や学校給食センター並びに
長浦駅南北自由通路と駅舎を見学させていただきました。

職員からの説明後、午後は六本木ビルでの後援会場まで
送っていただき、袖ヶ浦市に感謝を申し上げたいと思います。

いよいよ^(今後)袖ヶ浦市の駅を中心とした整備の進捗。我々の徳市議会
としても調査研究の土壌を視察に来ることに思っています。

又徳市の課題である徳駅周辺や川崎町と一体となった

整備計画をすすめるのであれば、JR徳駅を徳市として金額負担

建設するかどうかともしてJR東北に^(交差)しつくりする方針を

打たなければ、徳市中心市街地活性化の徳駅前整備が

進まないことを感じました。

以上

【小野寺勝也 議会改革推進会議委員】

袖ヶ浦市の学校給食センターの平日は在宅の
児童・生徒の女性の独自のメニューを調理

2023.11.16. 大井町/二階之への施設整備は
3.11震災後、新施設もない。おはらい
施設もない。

【山口健一 議会改革推進会議委員】

袖ヶ浦市の訪問は二回目になりますが、今回は袖ヶ浦市の駅前開発（駅ビル、互換整車業）などを視察しました。袖ヶ浦市は都心より一時間ほどの通勤圏にあり、人口増化が感じられています。

袖ヶ浦は田園風景が残っており、住環境がすばらしいと思います。また工業団地にはすべて企業が満ちており、今後予定されている新しい工業団地も企業誘致を行っており、人口減小に歯止めがかかると期待しているとのことでした。

議員交流から市民交流が盛んになればと思う研究でした。